

野蒜復興新聞

協議は毎週1回程度

高台移転部会 協議開始



それぞれの役員さんから意向とその理由を説明し課題を共有、皆さんの決断にどのような条件が必要なのか等＝2012年12月22日（土）

12月6日（木）野蒜市民センターにおいて「第1回野蒜地区復興協議会 高台移転部会」が開催されました。参加者は防災集団移転事業対象者であり、各行政区から推薦されたおよそ35名、そして市関係者とコンサルタントなどおよそ15名が参加。

高台移転部会の和泉部会長の進行のもと、まずは市職員から野蒜北部丘陵団地の概要と今後のスケジュールなどの説明。現段階で固まってきた計画としては、集団移転先の都市計画道路横2本、避難道路縦2本。また集団移転先へ移行するJR仙石線。そしてその新野蒜駅と東名駅、駅前広場。今後はこれらの基

本情報をもとに、集団移転先の区画の形をどのようにするか、どの場所に公共施設などを配置するのか、災害公営住宅の配置はどこが適しているのか、旧行政区で固まった集団移転とするのか、いくつかの行政区でまとまった集団移転とするのかなど、この協議会の場で話あつていくこととなつていきます。

現在の目標は今年2月下旬頃までに「画地位置の決定方法」を定めることであり、その過程では「移転エリア」↓「移転ブロック」↓「移転画地」という段階に分けて定めていく予定です。また必要に応じ、エリア別の会議、役員会議、全体会議というように、少人数と全体との会議を織り交ぜながら、各個人が納得した決定とできるよう工夫していきます。ことで計画されていきます。

野蒜まちづくり協議会 提言書一つ実現化

緊急避難場所 野蒜小学校利用

平成24年11月22日、東松島市は野蒜小学校、浜市小学校、鳴瀬第二中学校の北校舎を一部修繕し、緊急避難場所として利用することを発表しました。背景としては、現在の野蒜地区には一定の高さと強度を備えた避難場所が少なく、地域住民や復興事業に関わる工事関係者の緊急避難場所として活用できるよう、10月に野蒜まちづくり協議会



緊急避難場所として再利用される野蒜小学校

から市へ提言書を提出していただきました。

提言書には復興に関すること、産業振興に関すること、教育施設に関すること、医療福祉に関することなど計20項目が提言されている中で、このたびは復興に関する提言の一つが実現化した形です。また今後は避難場所の他にも物資の備蓄倉庫、集会施設、ボランティアへの宿泊施設などへの転用も含めて校舎の活用方法を検討していくことになっています。

野蒜まちづくり協議会 随時ホームページ更新

昨年7月から発行している野蒜復興新聞もこのたびで第5号となりました。今年も野蒜

地区復興に関する進捗情報を発信して参ります。今まで発行した野蒜復興新聞は「野蒜まちづくり協議会ホームページ」上でダウンロードできるようになっております。

また昨年11月から野蒜地区復興協議会、高台移転部会での協議も始まりました。ここでの協議事項や決定事項などの議事録も随時発信しております。ぜひご利用ください。



「野蒜まちづくり協議会」と検索するとホームページが見つけられます。ぜひ一度ご利用ください。

また今年から新たに復興部会で跡地利用等の協議の場も予定されています。若い世代、ママさん世代、お父さん世代まで、皆さんご参加、ご意見をお待ちしております。予定も決定次第随時ホームページで発信いたします。



新年度のご挨拶 成澤孝一
野蒜まちづくり協議会 復興部会長
(兼) 野蒜地区復興協議会 会長

新年あけましておめでとうございます。平成25年の新春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。昨年7月に野蒜まちづくり協議会において復興部会を新たに組織し、住民の参加を呼びかけ、新たなまちづくりに向けて協議して参りました。また昨年11月にはこの復興部会に高台移転部会を新たに加え、「野蒜地区復興協議会」へ新たな組織体制となりました。今後この協議会の場で、皆さんと共に復興野蒜まちづくりを促進していただけるよう全力で取り組んで参ります。どうぞ今年も皆さんのご協力のほどよろしくお願いたします。